

◎ 飛行機搭乗の流れ

・ 機内での注意事項



① 搭乗券を受け取る → ② 保安検査場 → ③ 搭乗口 → ④ 飛行機へ搭乗

① 搭乗券を受け取る

- ・ 空港での整列時に、搭乗券が配布される。
- ・ 搭乗券は目的地まで大切に保管する。ただし、提示を求められた際は、速やかに対応できるように、手荷物の奥には入れないこともポイント。

② 保安検査場 ※搭乗券を手に持つ

- ・ 身につけている金属類（携帯電話、鍵、小銭など）、電子機器類、ペットボトルや水筒などの液体物は、保安検査場に備え付けのトレーに入れ検査を受ける。
- ・ コート・スーツの上着・ジャケット類はあらかじめ脱いで検査を受ける。
- ・ ブザーが鳴った場合は、検査員の指示に従い再検査を受ける。緊張の一瞬…。



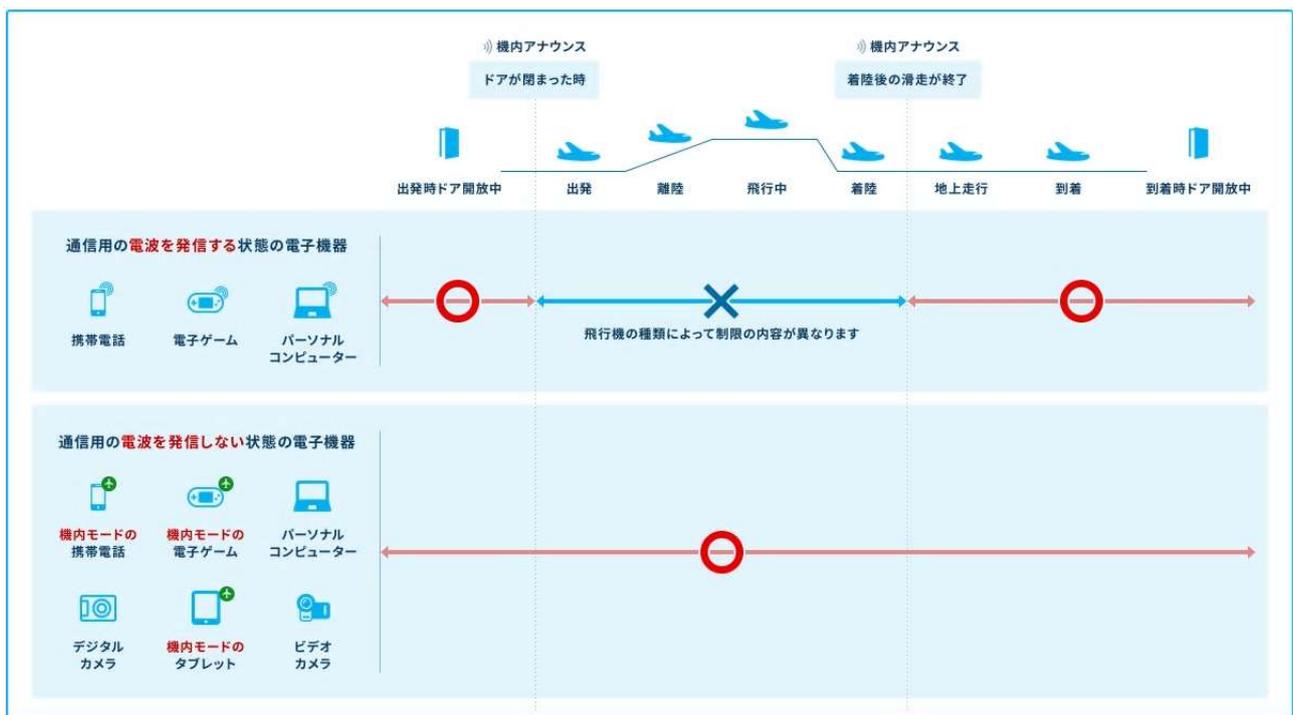
③ 搭乗口

- ・ ANA 475 便(往路)、ANA 462 便(復路)の搭乗案内があったら、指示に従って出発ゲートから機内へ搭乗する。

※出発時刻とは、飛行機が動き出す時刻であるので、素早く搭乗すること！！

④ 飛行機へ搭乗

- ・ 搭乗券に記載してある座席番号に着席する。
- ・ 手荷物は、頭上のボックスに入れるか、足下座席下に入れる。
- ・ 飛行機のドアが閉まった後は、電子機器は機内モード等の電波を発しない状態とするか、電源を切ること。※下記参照



⑤ 飛行機内では

- ・シートベルトは常に着用する。

◎ 離着陸

- ・シートベルトは、腰の低い位置でしっかりと締める。
- ・緊急時の衝撃から身を守るため、緩みがないか確認。
- ・座席のリクライニングを戻す。
- ・前面のトレイをしまう。



◎ 航行中

- ・シートベルト着用サインがついていなくても、突然の揺れに備えて常にシートベルトを締めしておく。

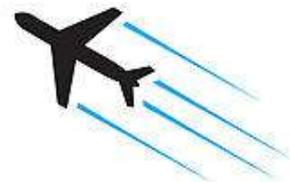


◎ 着陸後

- ・飛行機は、一旦停止しても再び動き出すことがあるので、シートベルト着用サインが消えるまで着席のままで待つ。

⑥ 飛行機から降機

- ・身の回りの持ち物を確認。
- ・機内にゴミを残さない。
- ・乗務員の方々への御礼を忘れない。



搭乗予定機種

☆ボーイング777-300(773)

(羽田ー那覇：ANA475，那覇ー羽田：ANA462便)

全長 73.9m 全幅 60.9m 全高 18.5m エンジン推力 40,910kg × 2 標準座席数 514
巡航速度 890km/h 最大離陸重量 234.0t 航続距離 3,800km

